

教育研究および地域貢献活動  
活動報告書  
2011



札幌市立大学

# 目 次

学生関連 ..... 1

教員関連 ..... 12

# 学生関連



## 「札幌市スポーツ推進委員会50周年事業」のために プロモーションビデオを制作しました 2012.03.27

札幌市には、264名（平成24年2月1日現在）のスポーツ推進委員（旧：体育指導委員）が任命されていて、地域にスポーツの楽しさを伝え、誰もがスポーツしやすい環境をつくるため、地域で事業の企画・運営などを行っています。

このたびこのスポーツ推進委員が組織している「札幌市スポーツ推進委員会50周年事業」の一環として、スポーツ推進委員の活動を多くの方に知ってもらうためのプロモーションビデオを、本学学生が制作しました。

札幌マラソンを含めたスポーツ推進委員の数々の活動現場を撮影したほか、シナリオ作成、映像編集を行い、1分版、30秒版、15秒版の3本を制作しました。

制作したビデオは[札幌市ホームページ](#)（サイト外リンク）から見ることができます。

15秒版は、札幌駅前通地下歩行空間（北3条交差点広場、北大通交差点広場）で、2月13日（月）～24日（金）の7時～9時、17時～19時に公開されました。

●制作者：札幌市立大学デザイン学部デザイン学科1年生 石山 千彩季、平野 絢子、吉村 佑馬

●監修：札幌市立大学デザイン学部講師 石田 勝也




## アートマーケット「卒店」を開催します。 2012.03.09



「卒店」とは札幌市立大学デザイン学部4年生有志による、卒業研究グッズを買うアートマーケットです。札幌市立大学卒業修了研究展に合わせ、日頃から研究してきたデザインのモノ・コトを頒布します。来校者とのコミュニケーションと学生の制作成果発表を兼ねたアートマーケットです。札幌市立大学卒業修了研究展の記念にぜひお立ち寄りください。お時間がありましたら、卒業研究展示の説明や案内も致します。

- 日時：2012年3月10日（土）、11日（日）、17日（土）、18日（日）
  - 場所：札幌市立大学芸術の森キャンパス 旧学生課前
  - 時間：10:00～17:00（卒業終了研究展本展の開催時間と同時間です）
- 出品者などの詳しい内容は、こちらの卒店web支店をご覧ください。  
 【卒店web支店】<http://sotsushop.tumblr.com/>  
 （札幌市立大学サイト公式サイト外にリンクします。）


 チラシ（PDF）：  
 1.58MB

## 「次世代自動車デザインコンテスト」で本学学生が受賞しました！ 2012.03.08

「次世代自動車デザインコンテスト」は、道内の大学・短大・高専・専修学校・高校生を対象に、自動車生産の重要な要素であるデザインを通して、次世代自動車についての関心を高めることを目的として実施され、応募総数42点の中から、銀賞に本学デザイン学部製品デザインコース2年生百澤くん、他6名が入選しました。（ベスト15入り）…続きを読む


 デザインコンテスト入賞作品（PDF）：2.84MB

次世代自動車産業集積促進事業(次世代自動車デザインコンテスト、電気自動車教室他) HP：  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/zisedaizidousyasyuseki.htm>



次世代自動車デザインコンテスト  
 ■ 募集期間 2011.11.10～2012.1.31(必着)  
 ■ 参加対象 札幌市立大学 現大生 学部生 院生  
 ■ テーマ 「未来の暮らしを大衆が共有する社会」  
 ■ 募集要項 札幌市立大学デザイン学部 2012.1.17(日) 10時～12時

(札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

募集チラシ (PDF : 643KB)

## 「卒修展ツアー」を開催します。2012.03.06

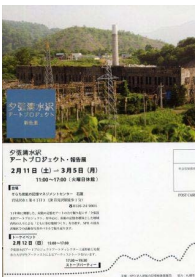


「卒修展ツアー」＝「札幌市立大学デザイン学部・研究科卒業修了研究展2012を聴いて見る会」を開催します。

どなたも自由にご観覧いただける「札幌市立大学デザイン学部・研究科卒業修了研究展2012」。特別に、選りすぐりの卒業研究及び修了研究について、各コース・分野の教員による解説付きのツアーを企画しました。産業界や官公庁の方を主な対象としています。皆様のご来場をお待ちしています。

- 日時：2012年 3月13日（火）13:30～16:00
- 場所：札幌市立大学芸術の森キャンパス（札幌市南区芸術の森1丁目）→交通アクセス
- 集合場所：芸術の森キャンパス1Fライブラリ・シアター(正面玄関入り、左側)
- プログラム：  
13:00- 受付開始  
13:30-14:30 内容紹介  
（空間デザイン、製品デザイン、コンテンツデザイン、メディアデザインの各コース・分野）  
14:30-15:30 学内自由見学  
15:30-16:00 意見交換（@専攻科棟会議室）
- ※内容紹介だけのご参加も可能です
- お問い合わせ＆お申込：札幌市立大学地域連携課  
tel.011-592-2346 Fax.011-592-2369 email. renkei@scu.ac.jp
- 主催：札幌市立大学  
「札幌市立大学デザイン学部・研究科卒業修了研究展2012」サイト [diploma-design.scu.ac](http://diploma-design.scu.ac)  
(札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

## 「夕張清水沢アートプロジェクト」報告展を開催します。2012.02.10



本学の学生、教員が2011年秋に開催した、炭鉱の記憶をアートのかたで掘り起こす「夕張清水沢アートプロジェクト」を中心に、炭鉱の記憶を媒体とした地域内外の人々による「ともに歩む地域づくり」を目指す、NPOの清水沢地区での活動を写真やパネルで振り返ります。

- 「夕張清水沢アートプロジェクト」報告展
- 日程：2012年2月11日（土）～3月5日（月）
  - 開館時間：11:00～17:00 ※火曜日休館
  - 場所：そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター 石蔵  
岩見沢市1条西4丁目3（JR岩見沢駅徒歩1分）

アーティストトーク

- 日時：2月12日（日）15:00～
- 内容：夕張清水沢アートプロジェクトアートディレクターの本学教授上遠野敏と参加学生によるアーティストトーク。
- 主催：NPO法人炭鉱の記憶推進事業団

チラシ (PDF : 421KB)

## 「第6回GATSBY学生CM大賞」一般CM部門賞を受賞！2012.01.31



「第6回GATSBY学生CM大賞」において、本学デザイン学部1年生のチーム九(キュウ)運(レン)宝(ポウ)燈(トウ)が、部門賞の一般CM部門賞を受賞しました。

- 受賞者：チーム 九(キュウ)運(レン)宝(ポウ)燈(トウ) (代表：皆月明人、メンバー：一戸俊希、小川祥平、丹野健介、山口多聞、横山航、吉村佑馬)
- 受賞作品：『歌のテスト』編
- 対象商品：GATSBYフェイスケア「ペーパー洗顔」のCM作成
- 受賞作品テーマ：めんどくさい歌のテストの最中だろうが、熱のこもった音楽室だろうが、ペーパー洗顔を使えばスッキリ爽やかに。商品を使用した時の爽快感を「スーツ」という言葉で表現しました。それによってCMを見た人が、爽快感が得られる商品なんだと理解し、具体的にどうなるんだろう？と気になることを狙いました。

第6回GATSBY学生CM大賞HP：<http://award.gatsby.jp/result/>  
(札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

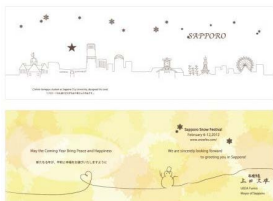
## ペットボトル製「シロクマの親子」が円山動物園に登場 2011.12.27



本学美術部「ノメノン」が、日本コカ・コーラのミネラルウォーター製品「い・ろ・は・す」のecoアートプロジェクトに協力しました。ペットボトルを再利用して制作したシロクマの親子をモチーフにしたオブジェは、1月末頃まで円山動物園に展示されます。

●作品コメント：「見た人みんながやさしい気持ちになれるよう、母親のシロクマと子グマをたくさんつくりました。」使われたペットボトルの本数あてクイズなども行われています。

## 「札幌市グリーティングカード」デザイン採用 2011.12.26



毎年末に札幌市のPRを兼ねて制作される「札幌市グリーティングカード」は、札幌市の姉妹都市を始めとする都市などに向けて、札幌市長名で送付しているカードです。

札幌市国際部の依頼により、今年のカード制作にはデザイン学部コンテンツコースの学生25名が参加しました。国際交流員の皆様や札幌市国際部の職員の皆様による審査の結果、世永千尋さん（デザイン学部コンテンツコース2年）の作品が採用されました。世永さんのカードは、12月9日に世界150カ国に向けて400通発送されました。また12月21日には、札幌市役所にて表彰式が行われ、世永さんに記念品が贈呈されました。

なお、海外から札幌市に送られるグリーティングカードと本学の学生が制作したカードは、「グリーティングカード展」に展示されますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

●日時：平成24年1月16日(月)～20日(金) 8:45～17:15

●会場：札幌市役所(札幌市中央区北1条西2丁目) 1階西側ホール

## 札幌市立大学大学院「連携プロジェクト演習」公開成果発表会を開催します 2011.12.08

平成23年12月10日(土)に、本学大学院の看護学研究科とデザイン研究科が連携して行っている授業「連携プロジェクト演習」の成果について、公開発表会を開催します。

●日時：平成23年12月10日(土) 15:00～18:00

●場所：本学桑園キャンパス大学院棟 1階 大講義室

●発表テーマ：①夕張清水沢地区の炭鉱遺産をめぐるウォーキングマップの作成

指導教員 上遠野教授、村松講師

②若者の生肉喫食に関わる調査研究

指導教員 細谷准教授、菅原講師

③小児災害時のパッケージの提案

指導教員 石崎教授、松浦教授

## 第6回国際短編映画祭実行委員会主催アイアン・フィルムメーカー・コンテストで受賞しました 2011.10.14



チーム「medianz」

第6回札幌国際短編映画祭実行委員会主催アイアン・フィルムメーカー・コンテストで本学デザイン学部2年生の小比類巻郁恵さん、神坂知春さん、世永千尋さんがグランプリを受賞しました。

●受賞者：チーム名「medianz」：小比類巻郁恵（メディアデザインコース）、神坂知春（メディアデザインコース）、世永千尋（コンテンツデザインコース）

●作品名：「PIECE」（メッセージ：You make someone peaceful with your piece.）

●アイアン・フィルムメーカー・コンテストとは、札幌国際短編映画祭（SAPPORO SHORT FESTIVAL2011）の特別コンペティション企画です。参加チームはコンテスト当日に主催者から、ある「テーマ」が与えられ、それに沿って1分間のショートフィルムを製作します。製作に与えられる時間は24時間！そのなかで企画、脚本、撮影、編集、提出の全ての作業を終えなければならない、いわば「映像の鉄人」コンテストです。今年のテーマは「絶望から希望」。

●札幌国際短編映画祭ページ：<http://sapporoshortfest.jp/>

（札幌市立大学公式サイト外にリンクします。）

## 「ロボットトライアスロン記念大会」で本学のチームが入賞 2011.10.11



ポスター (PDF :

3.71MB)

10月2日(日)、北海道工業大学(手稲区前田)5号館ホールにて行われた第11回ロボット・トライアスロン大会に、本学から2チーム5名が出場しました。

本大会には、北海道内の大学から32チームが参加し、本学のチームは以下の成績を収めました。

●チーム「スタンドアローン」のロボット「ハナロクショウ」：デザイン部門で1位を獲得。

●チーム「Truss+制作委員会」のロボット「Truss+」：ポスター部門で1位、デザイン部門で2位を獲得。

大会案内ポスターと走行コース内オブジェ制作も本学学生が担当しました。

コース内オブジェは、東日本大震災による災害からの再生と復興に対する強い思いと、第11回目を迎えた新たな一歩を踏み出す本大会への思いを受け、たゆまず、ゆっくりと、確実に一歩一歩進んでいくんだという思いを込めて、廃材を用いたカタツムリとしました。

主催：ロボットトライアスロン運営委員会



「ハナロクショウ」



「Truss+」



「Truss+」



走行コース

ポスター (PDF : 14.7MB)

## 2011年度精密工学会北海道支部 第11CAD/CGモデリングコンテストで本学学生が最優秀賞を受賞しました 2011.09.28



レンダリング (PDF : 7,828KB)

2011年9月3日(土)に開催された「2011年度精密工学会北海道支部第11回CAD/CGモデリングコンテスト」において、審査会が実施され、本学デザイン学部3年生、大野恭一さんがリアリティ部門で最優秀賞を受賞しました。

- 受賞者：大野 恭一 (デザイン学部3年生)
- モデリングテーマ：a uスマートフォン (INFOBAR A01)
- モデリングコンセプト：

このモデルはコンピュータ基礎実習IICでINFOBAR2をモデリングした経験を活かして製作されたものです。細かい部分まで精密に計測し、ロフトやフィレットを用いた複雑な曲面を再現することに心血を注ぎました。この作品を制作は、日本が誇る偉大なデザイナー、深澤直人氏のデザインをモデリングによって学び取ることを目的としています。今回、このような精密な計測とモデリングを通して工業デザインの過程でいかにアールや曲率などといった細部に気配りがなされているかを実際に体感することができました。

2011年度精密工学会北海道支部第11回CAD /CGモデリングコンテスト応募要項  
<http://hokkaido.jspe.or.jp/pdf/2011CADCGcontest.pdf>  
(札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

## 第1回行啓通ショートフィルムコンテストで受賞しました 2011.09.20

札幌市中央区行啓通のまちづくりの一環として今年度から開催された「行啓通ショートフィルムコンテスト」。9月18日(日)、豊平館で行なわれた上映会が行われました。出展8作品のうち札幌市立大学からは5作品の応募があり、2年生の「チームアベイ」がダブル受賞しました。他の4チームも意欲的に取り組み、魅力的な作品を作りました。

- 受賞名：最優秀賞、観客賞
- 受賞者：チームアベイ：小坂友梨 (メディアデザインコース2年)、小比類巻郁恵 (メディアデザインコース2年)、澤出有里 (メディアデザインコース2年)、世永千尋 (監督、コンテンツデザインコース2年)
- 作品名：「象トわたし」

### 【本学応募作品】

- 「象トわたし」 チームアベイ (2年生)
- 「何でもない日」 vomish (1年生)
- 「市電のススメ」 SCU市電のススメ製作委員会 (4年生)
- 「Yuma vs Media Jumper」 snea (1年生)
- 「cycle」 VOL.4 (2年生)

## 「夕張清水沢アートプロジェクト」に参加 2011.09.15



9月17日(土)から10月16日(日)までの土、日、祝、13日間、大正15年の完成以来65年間にわたり空知全域の炭鉱に電気を送っていた旧北炭清水沢火力発電所をメイン会場にアートのかで炭鉱の記憶を掘り起こします。

- 参加アーティスト  
上遠野 敏 (本学教授・アートディレクター) / 堺 麻耶 (院2) / 渡邊 俊介 (院1) / 59ra9 (メディアデザイン4年・千葉絵理子・小石真理子・神馬抄苗のユニット) / 富田歩 (3年) / 札幌市立大学美術部 nou me non (ノメノン) : (伊藤 里菜子・工藤 寛子・萩原 拓矢 / カクレボン (山本倫子・平野大地・小松英之・若生大地のユニット) / ノメノン2年 ゲストアーティスト 端聡 / kensyo

チラシ (PDF : 2.06MB)

- オープニングセレモニー / 9月18日(日) 14:00~15:30  
祭太郎 (口上パフォーマンス) / 茂呂剛伸 (ジャンベ奏者) / キック (コンテンポラリーダンサー) / 武田芽衣 (札幌チェロ奏者)

- ・展示 / 2011年9月17日(土) ~ 10月16日(日) 10:00~17:00 (最終入場16:30)
- ・公開日 / 土、日、祭日
- ・料金 / 入場無料
- ・メイン会場 / 旧北炭清水沢火力発電所 北炭清水沢鉱ズリ山ほか

・詳細／「夕張清水沢アートプロジェクト」公式サイト：<http://www.shimizusawa.com/>（札幌市立大学公式サイト外にリンクします）

◎関連催事

- 大夕張～追憶の汽笛～写真展 / 9月17日（土）～10月16日（日）  
「石炭の道」ガイドツアー / 9月17日（土）、10月15日（土）
- セミナー「健康はお口から～8020運動～」 / 9月25日（日）  
村松真澄（本学講師）／池山知穂・小野千笑・金谷麻子・神田智恵美・窪田彩花・鈴木亜梨沙・西井温美ほか（看護学部3年）
- バスツアー「北炭送電線をたどる」 / 10月8日（土）
- 夕張清水沢アートプロジェクト札幌サテライトCAI02 / 9月17日（土）～9月28日（水）

- ・主催／NPO炭鉱の記憶推進事業団
- ・共催／札幌ピエンナーレ・プレ展実行委員会
- ・後援／北海道空知総合振興局・夕張市・夕張市教育委員会

## 芸術の森地区シンボルマークを本学学生が制作 2011.09.13



芸術の森地区のシンボルマークとして、28名の応募の中から、本学学生の作品が優秀賞に選ばれました。11月2、3日、芸術の森地区会館で開催される文化祭にて応募作品の展示会が行われます。

- 優秀賞：首藤翠（デザイン学部3年生）
- 佳作：川村慎吾（デザイン学部2年生）  
千葉絵理子（デザイン学部4年生）

今後、芸術の森地区連合会で作製する見守り啓発品（帽子、ベスト等）や交通安全の旗、広報紙等に使用されます。

 優秀賞 (PDF : 973KB)

## 「はきはきセミナーお口の健康」を実施 2011.09.12

8月31日、札幌市清田老人福祉センターにて、看護学部村松講師と地域交流ボランティア同好会"act"による「はきはきセミナーお口の健康」を実施しました。当日は、利用者24名の方が参加され、熱心にうがいの方法や唾液腺マッサージを実践しました。



## デザイン学部、看護学部の学生・教員が企画参加する「ミニ大通お散歩まつり」が開催されます 2011.09.09 (09.14更新)



「ミニ大通お散歩まつり」ポスター

ミニ大通（遊歩道）界限全体を会場に、ぶらりと散歩しながら、秋の1日を一緒に楽しむお祭りです。フリーマーケットやアート、お楽しみ抽選会、ちびっ子ゾーンなど盛りだくさんのイベントがあります。

日時：2011年9月11日(日) 11:00～16:00 (雨天決行)  
会場：ミニ大通（札幌市中央区北4条西11丁目～17丁目）  
主催：ミニ大通お散歩まつり実行委員会

イベントの詳細：

 「ミニ大通お散歩まつり」チラシ (PDF : 1.5MB)

<http://minio-dori.com/maturi.html>（札幌市立大学公式サイト外にリンクします。）

【デザイン学部：上遠野教授と学生の企画】

●「樹上展」

11:00～16:00開催、札幌市立大学デザイン学部によるアート作品展！  
ミニ大通13丁目～14丁目の木の上で様々な作品を展示します。

●「みんなで樹名板をつけよう！」

10:30に西13丁目に集合しよう！みんなで作った樹名板を取り付けます。

●「ミニ大通お散歩まつり」チラシ&ポスターデザイン

制作学生：小石／千葉／萩原（デザイン学部メディアデザインコース4年）

【看護学部：村松講師と地域交流ボランティア同好会"act"の企画】



セミナー開催中





ボランティア同好会"act"

●健康セミナー

- 11:30から15:00まで、モロオ会場5階会議室にて開催！
- 11:30～「アロマのワークショップ」
- 13:00～13:30「手洗い新習慣！！Byeばい菌セミナー」
- 14:00～15:00「和田医師による健康診断」

当日は約35名の地域の方々に参加していただき、ATP拭き取り検査法を用いて手洗いの効果を実感していただきました。(09.14更新)

## わたしたちの自己紹介展 - Nice to meet you ! - を開催 2011.09.09



フライヤー

デザイン学部2年生24名が、グループ展「わたしたちの自己紹介展 - Nice to meet you ! -」を開催します。普段何を学び、何を考えているのかを多くの人に伝えたい、そんな想いを、この展示にぶつけたいとのこと。運動会の時に飾る国旗をイメージしたフライヤーのデザインは、個性豊かな国旗のように、メンバーひとりひとりのキャラクターを表現しています。

●メンバー：札幌市立大学デザイン学部2年生24名

上田瑞穂／大野葉月／小野舞子／角田史恵／笠谷奈央／河原美由紀／熊木菜里奈／正木裕子／鈴木香織／鈴木福実／諏訪敦美／高野愛梨／高橋美希／館岡節子／辻榮はづき／中住ゆきの／西崎由樹／橋本志保／虞川幸子／安永千晶／山崎美咲／山本美星子／横田龍一／横山咲希

●「わたしたちの自己紹介展-Nice to meet you !」

- ・日程／2011年9月9日(金)～11日(日)
- ・時間／10：00～20：30（最終日は19:00まで）
- ・場所／4丁目プラザ7F4プラホール（札幌市中央区南1条西4丁目）

ウェブサイト：http://jikoshoukaien.web.fc2.com/

Twitter：http://twitter.com/#!/W\_J\_T

(札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

## RISING SUN ROCK FESTIVAL 2011 in EZOで 託児スペース「KIDS GARDEN」を制作 2011.09.01

本学学生の有志と美術部noumenonとで、今年度も「KIDS GARDEN」の制作をしました。

2011.8.12-8.13に石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージにて開催されたRSR2011。

今回で4回目となるKIDS GARDENのコンセプトは「カラフルインディアン」。子供もお父さんお母さんもインディアンのように自由に遊べる空間をつくりました。お菓子のパッケージや古着をコラージュしてつくるなど、カラフル&エコに演出しました。



## 「三笠フットパス」のサインを本学学生がデザイン 2011.08.30

三笠市立博物館を起点に幾春別・奔別地区の炭鉱遺産を巡るフットパスが8月27日に始まりました。「錦立坑コース」「奔別立坑コース」に本学学生がデザイン、制作を行った説明サイン2基、誘導サイン9基、三笠市博物館インフォボックスサイン1基を設置しました。併せて道の駅などに公共施設インフォボックス8基を設置しました。

三笠市幾春別・奔別地区の炭鉱の歴史や地質学的に貴重な地層を自らの足でたどり、その魅力を再発見してはいかがでしょうか。

- 主催：北海道空知総合振興局
- 協力：三笠市、みかさ炭鉱の記憶再生塾、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団
- 制作学生：神馬抄苗、小石真理子、千葉絵理子、萩原拓矢（メディアデザインコース4年）
- アートディレクター：上遠野敏（本学教授）



説明サイン



誘導サイン



三笠市博物館インフォボックス



奔別立坑

## 「第7回三井住空間デザインコンペ」佳作を受賞 2011.08.21



三井不動産レジデンシャルと新建築社が共催する「第7回三井住空間デザインコンペ」が開催され、応募総440点の中から、本学デザイン研究科の2年生、奥田諭史さんと本学デザイン研究科准教授、那須聖先生の共同作品が佳作を受賞しました。

- 受賞者名：奥田諭史（デザイン研究科2年生）、那須聖（デザイン研究科准教授）
- 受賞作品：「中心でつながる住まい」
- 受賞作品テーマ：「アクティブシニアの都市住居をデザインする」というテーマで、「個」と「共」の空間を大きく分け、それらが中心でつながる住宅を提案しました。住宅の中心で空間がつながることで視線の抜けや空間のつながりによってお互いの生活を感じる住居です。

第7回三井住空間デザインコンペ

<http://www.shinkenchiku.net/j-kukan/requirement.html>

## 「平成レトロ展」を開催 2011.08.19



チラシ (PDF: 211KB)

メディアデザインコース3年生の有志6人が、「平成レトロ展」を開催します。昭和独特の雰囲気や現代風に再現した作品があり、昭和の雰囲気も体験できます。どこか懐かしくもあり、けれども、平成ならではの新鮮さのある作品展です。

- メンバー  
今野美里、鈴木柚那、常盤井沙織、西沢香里、松井彩、山下恵

- 「平成レトロ展」
  - ・日程/2011年8月16日(火)～21日(日)
  - ・時間/10:00～20:30(最終日は19:00まで)
  - ・入場/無料
  - ・場所/4丁目プラザ7F4プラホール(札幌市中央区南1条西4丁目)

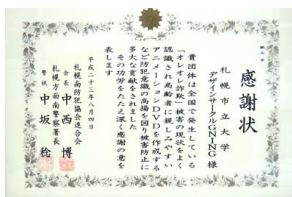
「平成レトロ展」ウェブサイト

<http://heiseiretro.web.fc2.com/>

(札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

## デザインサークル「GNING（グニング）」作成DVDが表彰されました 2011.08.10

デザインサークル「GNING（グニング）」が、北海道警察の依頼で、増え続ける振り込め詐欺の防止を訴えるアニメDVDを作成し、札幌南警察署長より表彰を受けました。作成されたDVDは、防犯講話などの際に活用され、貸出も予定されているそうです。STV「どさんこワイド179」や朝日新聞でも紹介されました。



## 学生たちのアイデアを活かした公開講座「Connekid！（コネキッド）」開催 2011.08.03



チラシ (PDF: 737KB)

本学の学生と教員が“遊び”をテーマに楽しいイベントを企画しました。“遊び”というものを原点から見直し、「からだ」で、「あたま」で、「こころ」で楽しめる“遊び”を提案します。

- Connekid！（コネキッド）
  - ・日程/2011年8月7日(日)12:00～16:00
  - ・場所/札幌地下歩行空間 北4条イベントスペース  
(※札幌駅側から入ってすぐ左手のスペース)
  - ・対象/札幌市地下歩行空間を通行する3歳～小学校低学年の子どもとその保護者

## 日本デザイン学会第58回研究発表会で本学学生が受賞 2011.08.02



6月24日(金)～26日(日)に千葉工業大学において開催された「日本デザイン学会第58回研究発表大会」において、デザイン学部の3名の学生が教員とともにグッドプレゼンテーション賞（ポスター発表）を受賞しました。

- 受賞者：日高麻里（デザイン学部4年生）、鈴木智夫、田邊優（ともにデザイン学部3年生）、杉哲夫（デザイン学部教授）、小宮加容子（デザイン学部講師）
- 受賞名：グッドプレゼンテーション賞（ポスター発表）
- タイトル：「授業を通じての雪道ベビーカー提案」
- 発表内容：一人のお母様の声を受けスタートした雪道ベビーカーの提案について、授業を通して調査から実機製作、その評価まで行いました。今回の発表では、代表作品として3作品を選び、製作プロセスと作品の特徴について報告しました。



## 「東日本大震災チャリティイベントに、軽音学部が出演 2011.07.27



チラシ (PDF2.8MB)

7月24日（日）、桑園地区で開催された「東日本大震災チャリティイベントPOWER of FRIEND」のチャリティパフォーマンスに、本学、軽音楽部が出演しました。当日は、アットホームな雰囲気の中で、心温まる演奏が行なわれました。

- 日時／7月24日（日）12：20～12：40（屋内エントランス）
- 場所／札幌大通高等学校（中央区北2条西11丁目）



## 赤平市「火まつりやらん会」のロゴマークを本学学生が制作 2011.07.26



毎年、赤平市で開催される火祭り。40周年を迎える今年、メインセレモニーを担う「火まつりやらん会」のロゴマークが公募され、本学学生のデザインしたロゴが採用されました。  
あかびら火まつりやらん会ロゴマーク

- 最優秀賞（採用）：工藤寛子（メディアデザインコース4年）
- やらん会会長賞：神馬抄苗（メディアデザインコース4年）

## 「はつらつ健康まつり」に参加 2011.07.26

地域交流ボランティア同好会“ACT”の4年生9名が、7月20日、札幌市福祉事業団主催の「はつらつ健康まつり」に参加しました。3年生の実習でお世話になった地域高齢者と健康体操やひよっこ踊りを楽しみました。午後には、健康機器による身体機能測定を実施しました。

ポスター (PDF : 107KB)

開催要項 (PDF : 104KB)



## 札幌駅前通地下歩行空間北2条広場の公共CGMサイネージ空間で 本学学生の映像作品が放送されています 2011.07.20

7月18日(月)海の日より、メディアデザインコースの学生3名が制作したインタラクティブ映像作品「Bluepath」が、札幌駅前通地下歩行空間北2条交差点広場の公共CGMサイネージ空間で放送されています。

この作品は、メディア芸術論(デザイン学部武邑教授担当)での課題発表を元に、約5ヶ月間の制作期間を経て制作されたものです。

札幌の地下に海を出現させ、カメラセンサーが歩行者を感知すると人数に従って海の生き物が増えていきます。悠々とした3メートル以上の「ヌシ」も出現しますので、お近くを通る際には、是非足を運んでみてください。

- 作品名:「Bluepath」(ブルーパス)
- 制作学生: 磯野桂、萩原拓矢、山田しおり(メディアデザインコース)
- 北2条広場の公式ホームページ。作品情報と放映スケジュールが確認できます。  
<http://www.sapporo-north2.com/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)

## 台湾向けテレビCM「I LOVE TAIWAN」の制作に協力 2011.07.19

6月26日(日)、本学桑園キャンパスの体育館にて、本学学生・教員と道内地域住民などのボランティア有志の協力による、海外テレビCMの制作が行われました。

震災で大きな被害を受けた日本に対し、多大な義援金と勇気を届けてくれた台湾の人々に宛てた、道民からの感謝の気持ちをこめたCM制作です。また、北海道民の元気な笑顔を発信することで、北海道から日本の元気をアピールし、海外の方に早く日本へ戻ってきて欲しいというメッセージを投げかけています。

制作されたCMは、台湾のチャンネル5にて、2011年7月8日から約半年間放映される予定です。

- 台湾で放映中のCM映像  
<http://www.youtube.com/watch?v=YLLf3sn0dP4> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)
- 母体プロジェクト「The Power of Hokkaido」の公式ホームページ。CM本編の他、メイキング映像等が閲覧できます。  
<http://www.power-hokkaido.jp/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)
- 当日の制作会場の様子  
<http://www.flickr.com/photos/64870427%40N06/sets/72157626999406521/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします。)



## ティンバライズ建築展に出展 2011.07.19



デザイン学部空間デザインコースの3、4年生13名が、「ティンバライズ建築展～都市木造のフロンティア～」in 北海道に作品を出展しました。

7月3日(日)には作品発表会があり、それぞれの作品について発表を行いました。

- 「ティンバライズ建築展～都市木造のフロンティア～」in 北海道  
・日程/2011年7月1日(金)～7月10日(日)  
・場所/北海道工業大学図書館1階ギャラリー



## IFCAA2012 SAPPOROのシンボルマークを本学学生が制作 2011.06.27

IFCAAとは、アジア消防長協会という国際的な消防団体の英語標記「International Fire Chiefs' Association of Asia」の頭文字で「イフカ」と読みます。

消防関係による国際的な会議や消防・防災展、更には救助隊による合同訓練など大規模なイベントの開催は、関東以北では初めてであり、また、平成24年は札幌市が、市制施行90周年・政令指定都市移行40周年を迎える節目の年でもあります。

これらを契機として、本会議・イベントの開催に伴い、シンボルマークのデザインを本学の学生が



ら募集し、このたびデザインが決定しました。



- 最優秀賞：首藤翠（デザイン学部3年生）
- 優秀賞：鈴木香織（デザイン学部2年生）  
正木裕子（デザイン学部2年生）

3月29日（火）に本学内において、札幌市消防局の方にお越しいただき、表彰式を執り行いました。

## いしかり浜サンドパーク2011で作品制作 2011.06.23

6月18日（土）から、石狩浜に期間限定でオープンした砂の公園（サンドパーク）。そこに集う人々が楽しく憩える砂の公園です。5体の大きなサンドアート（砂像）をはじめ、小型の砂像の展示や、ご当地メニューが味わえる軽食コーナーなどが設けられています。

18日、17時から20時には、砂像をキャンドルが囲む「砂浜キャンドルナイト」が行なわれ、日中とはひと味違う雰囲気演出しました。

今回、展示されている5基の砂像のうち1基を、本学美術部「ノメノン」が制作しました。また、大きな存在感を示す空間作品に取り組んだのは、デザイン研究科の渡邊俊介さん。土台作りから始まり、約1トンもの木材を積み重ね、直径8m、高さ2.5mの巨大な“憩いの場”を制作しました。

作品は、26日（日）まで展示されます。

- 砂像制作：本学美術部「ノメノン」
- 作品コンセプト：亀と玉手箱で「竜宮城」をイメージ
- 空間作品制作：渡邊俊介
- 作品コンセプト：風が吹くと音が鳴り、光の反射を感じられる空間

いしかり浜サンドパーク2011

- ・日程／6月18日（土）～26日（日）
- ・場所／石狩浜海水浴場・あそびーち石狩（石狩市弁天町地先）



「ノメノン」制作の砂像



外側から見た空間作品



砂浜キャンドルナイト

## 北海道ガーデンショーデザインコンペティションで本学学生が受賞 2011.06.22

「北海道ガーデンショーデザインコンペティション」で、本学学生の作品が受賞しました。プロ・アマを問わず公募された空間・ランドスケープ作品に、全国からの応募総数は71点。その中から、7点が優秀賞となり、製作費＋展示権利を与えられました。そのうち2点に、本学デザイン学部、山田良研究室の学生作品が選ばれました。2012年6月より「十勝千年の森」にて、4ヶ月間公開されます。

- 受賞者：藤田元輝
- 受賞作品タイトル：「The Bell or Trace of Passing Phenomenon」（PDF：1.21MKB）
- 受賞者：山根春菜
- 受賞作品タイトル：「VIEW」（PDF：214KB）

受賞者公表 [http://www.hgs.co.jp/competition\\_02.shtml](http://www.hgs.co.jp/competition_02.shtml)（札幌市立大学公式サイト外にリンクします。）

コンペ概要 <http://www.hgs.co.jp/competition.shtml>（札幌市立大学公式サイト外にリンクします。）

北海道ガーデンショー <http://www.hgs.co.jp/outline.shtml>（札幌市立大学公式サイト外にリンクします。）



「The Bell or Trace of Passing Phenomenon」



「VIEW」

## 第20回YOSAKOIソーラン祭りに参加しました 2011.06.22



6月8日(水)～12日(日)の5日間、大通公園をはじめとする札幌市内20会場で開催された「第20回YOSAKOIソーラン祭り」。部員94名で4回目の出場を迎えた本学YOSAKOIソーラン部「真花」は、9日(木)・11日(金)・12日(日)の3日間、部員全員が1つの風となり、大きな感動を届けてくれました。  
残念ながら賞は逃してしまいましたが、携帯電話の人気投票は全284チーム中12位(897票)と大健闘しました。

## 絵本を集めて被災地へ 2011.05.23 (2011.07.19更新)



絵本回収ボックスとポスター

看護学部学生12人で活動を行なっている、絵本の読み聞かせサークル「しゃぼん玉」が、東日本大震災により避難生活の続く子どもたちのために、絵本(児童書)を集めています(5月31日まで)。  
桑園・芸術の森両キャンパス図書館の協力もあり、館内に手作りの回収ボックスを設置しました。

避難所での夜、少しでも心が温かくなってくれたら・・・という思いが届いたのか、現在100冊以上の本が集まっています。第1便は、復興支援のために派遣された本学教職員により、いわき市へ無事届けられました。

最終的に219冊集まった絵本は、いわき市子育てサポートセンターへ届けられました。

## JIKKA グラシース「妄想のぬげがら展」開催 2011.05.20



生活の中で、浮かび上がってはなかなか頭を離れない妄想、あるいは理想の自己イメージ。気が付けばわいてくる頭を占拠していくそんな妄想のやり場に困ったことはありませんか。  
本学デザイン研究科2年生の2名で活動するJIKKA グラシースが、集まった妄想・願望を引き取り、試作品として制作、展示します。

- JIKKA グラシース「妄想のぬげがら展」(里見麻衣、堺麻那)
- ・日程/2011年5月17日(火)～29日(日)
- ・時間/月～土 10:30～22:00  
日 10:30～20:00
- ・入場/無料
- ・場所/TO OV cafe(札幌市中央区南9条西3丁目2-1 マジソンハイツ1F)
- ・アクセス/地下鉄南北線「中島公園駅」より徒歩2分

29日はクロージングパーティを予定しています。ぜひお越しください。

## お祭りのキャラクターや冊子、グッズをデザインしました 2011.05.11



三吉くん

札幌市中心部のお祭り「三吉神社例大祭」に、可愛いネコのキャラクター「三吉(さんきち)」や、子供たちが楽しめる「まち歩き」ゲームの冊子などを本学デザイン学部の学生が制作しました。

- キャラクター展開:メディアデザインコース学生・教員
- キャラクターデザイン:三吉くん
- まち歩きゲーム冊子デザイン:三吉くんとまちあるき!
- キャラクターグッズデザイン:お面、缶バッジ



当日は大賑わいでした。

- 📄 三吉くんとまちあるき!冊子紹介(PDF:3313KB)
- 📄 お面デザインと参加メンバー(PDF:968KB)

- 「三吉神社例大祭」
- ・場所/札幌市中央区南1条西8丁目17番地
- ・日程/5月14日(土)12:00～20:00
- 露店、能楽、お祭りライブなど
- 5月15日(日)09:00～19:00
- 露店、神輿渡御、こどもみこし、獅子舞、お祭りライブなど

地域のお祭りをぜひお楽しみください。

## JIA北海道支部学生卒業設計コンクールで本学大学院生が入賞 2011.04.28

2011年3月19日（土）に開催された「JIA北海道支部学生卒業設計コンクール2011」において、北海道支部推薦作品を選出するための審査会が実施され、本学デザイン研究科1年生石塚孝太郎さんのデザイン学部での卒業設計が審査員特別賞を受賞しました。



- 受賞者：石塚孝太郎
- 受賞作品タイトル：現庵、茶法の形態化による茶室空間の設計
- 受賞作品コンセプト

「茶の湯の空間と身体の動作の関係性に焦点を当て、茶の湯の空間を再定義することを試みた。茶室を舞台装置、茶庭を身体感覚順応装置と見立て設計を行い、セルフビルドにて施工を行っている。人の振る舞いと空間の関係性に着目した建築作品である。」



## 日本写真測量学会学術講演会で本学大学院生が受賞 2011.04.28



日本写真測量学会北海道支部で開催された第29回学術講演会において、本学デザイン研究科2年生金井紀暁さんが第29回学術講演会論文賞を受賞しました。

- 受賞者：金井紀暁
- 受賞論文タイトル：空中写真判読による1975年と2009年の間に起こったウトナイ湖とその周辺地域の植生変動の解析
- 受賞作品コンセプト（概要）

「ウトナイ湖周辺では特に北西岸の沿岸域で1962年から植生変化が詳細に記録されており、それによると近年湿原植生の急速な変化が進行しており、ハンノキ林やホザキシモツケ群落の拡大による高茎湿生草原の減少が明らかになっている。

本研究では、高茎湿生草原の成立過程を解明し、その保全策を探る研究の一環として、これまで不明であったウトナイ湖とその周辺部全域における近年の植生変化を把握する事を目的としている。このために、1975年と2009年に撮影されたウトナイ湖の空中写真を基に植生図を作成し、この間に起こった植生タイプごとの分布とその面積変化を解明する。また、既存の調査ラインが確立されている北西部に関して、水文化学的面から植生変化の原因を推察する。」

## NHK北海道「クリエイティブ・フロンティア」で受賞しました 2011.04.26

4/23（土）、NHK北海道主催の学生映像コンペ「クリエイティブ・フロンティア」の審査会が開催されました。

道内の高校生・専門学校生・大学生からエントリーされた45作品の中で、本学のデザイン学部生が以下の賞を受賞しました（本学からは6作品がエントリー）。作品は、特設Webサイトだけでなく、今後、NHK北海道の番組、地下歩行空間や街中のデジタルサイネージ、などで公開される予定です。

### ●演出賞

作品名：『color by color』 →映像はこちら

受賞者：松本沙緒里、江口亜衣里、曽根麻未、國柄美奈、柴田美奈、三浦淳子

### ●企画賞

作品名：『かあちゃん』 →映像はこちら

受賞者：鈴木麻以

### ●審査員特別賞

作品名：『意識のながれ』 →映像はこちら

受賞者：若生大地

主催：NHK北海道「クリエイティブ・フロンティア」

<http://www.nhk.or.jp/sapporo/creative/>

（札幌市立大学公式サイト外にリンクします。）


# 教員関連





## 「WJD AWARD 2011」で受賞 2012.03.19



 Love veil  
 (PDF : 140KB)

国際的なジュエリーデザインコンペ「WJD AWARD 2011」で、デザイン学部長谷川助教の作品「Love veil」が受賞しました。

WJD AWARD 2011  
World Jewelry Design AWARD 2011

- 部門：ブライダルジュエリー部門
- 作品名：「Love veil」
- 受賞：入賞（応募総数482点）
- 主催：株式会社シーマ  
ワールドジュエリーデザイン大賞 運営事務局

## 札幌市立大学大学院看護学研究科「第3回公開発表会」を開催します 2012.02.28

今年度看護学研究科を修了予定の5名が、これまでの研究内容を発表いたしますので、興味のある方は是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 日時：平成24年3月1日（木）13：10～15：35
  - 場所：本学桑園キャンパス大学院棟1階 大講義室
- ※参加にあたって事前の申し込みは必要ありません。


## 札幌市立大学大学院看護学研究科「CNS実習報告会」を開催します 2012.02.10

看護学研究科専門看護師（CNS）コースの6名が、今年度実施した実習について以下のとおり報告会を開催いたしますので、専門看護師に興味のある方は是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 日時：平成24年2月16日（木）18：10～20：30
  - 場所：本学桑園キャンパス大学院棟1階 大講義室
- ※参加にあたって事前の申し込みは必要ありません。

## 「かわさき産業デザインコンペ2011」で受賞 2012.02.10



 soft tetra (PDF : 140KB)

「かわさき産業デザインコンペ2011」で、デザイン学部長谷川助教の作品「soft tetra」が受賞しました。神奈川サイエンスパーク KSPギャラリーにて開催された「かわさき産業デザインコンペ作品展」にて展示されました。

かわさき産業デザインコンペ2011

- 課題B：新しい機能を盛り込んだパーソナルクッション
- 作品名：「soft tetra」/受賞：入賞

第23回 かわさきデザインフェア「かわさき産業デザインコンペ作品展」

- 会期：2012年1月31日（火）～2月6日（月）10:00～17:00
- 会場：神奈川サイエンスパーク KSPギャラリー（神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1）
- 主催：川崎市 / 協力：KSP
- 後援：経済産業省関東経済産業局 / 神奈川県 / 公益財団法人 神奈川産業振興センター / 公益財団法人 川崎市産業振興会 / 公益財団法人 日本産業デザイン振興会 / 社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会 / 社団法人 かながわデザイン機構

## 2011年度看護学部高大連携公開講座の修講式を行いました 2012.02.06

2011年度の看護学部高大連携公開講座は専門教育科目5科目を開講し、札幌市立高校の2年生、3年生合わせて24人が受講しました。受講者は、「看護学原論」、「地域保健学概論」、「人間発達援助論」、「チーム医療論」、「国際看護学」といった7回の講義又は15回の演習科目を本学学生と一緒に学び、2月2日の修講式を迎えました。

修講式は、高校関係者のほか本学の教員と学生が同席する中で行われ、参加した22名の受講者一人ひとりに、原田学長が修了証を手渡しました。続いて、原田学長と中村副学長・看護学部長は「経験は新しい世界を切り拓くものです」、「皆さんが大学の授業にチャレンジしたという体験は、今後どのような進路に進むにせよ大きな宝になります」と受講者を激励しました。また、札幌市立高校長会の大川会長（新川高校長）から、高校の授業が終わった後に苦労しながら大学に通ったことへの、ねぎらいの言葉がありました。



## 2011年度認定看護管理者制度サードレベル教育課程が修了しました 2012.01.31

2011年8月22日から計39日間の日程で開講していた今年度のサードレベル教育課程は、2012年1月27日に修講式を行い、受講者10名が本課程を修了しました。

修講式では、受講者一人ひとりが原田学長から修了証を受け取った後、原田学長と中村副学長から激励の言葉、来賓の近藤 市立札幌病院副院長・看護部長から祝辞をいただき、長い研修が修了したことを実感していました。最後に受講者を代表して挨拶に立った金萬文雄さんは、「学んだことを活かし、トップマネージャーとしてだけでなく、震災からの復興にも貢献したい」と決意を新たにしました。金萬さんは宮城県からの参加で、本学の課程では初の男性受講者でもあります。

本学のサードレベル教育課程は今年度で4年目、修了者は合計42名となりました。  
2012年度を受講者募集については、[こちら](#)をご覧ください。



## 山田良「続く風景 serial landscape」展開催 2011.12.21



続く風景 serial landscape

デザイン学部山田良講師の作品展「続く風景 serial landscape」が、徳島市にあらたに誕生した現代アート美術館isadc（万代中央ふ頭内）にて開催中です。美術館はヨットハーバーの倉庫を再利用したものです。

25m x 15mの空間を覆う作品「serial landscape」は、来館者それぞれが作品を通して風景を見立て、その先の想像へと続く、という趣旨から名付けられています。オープニングには徳島市民の方々が多数来館されました。

山田良 続く風景 serial landscape

- 日時：2011年12月11日（日）～12月25日（日） 11：00～17：00
- 場所：isadc（万代中央ふ頭内）／徳島県徳島市万代町5丁目71番地4
- 主催：イスア推進会議



●主催：札幌コンベンションセンター

📄「SORAこそだてフェスティバル2011」チラシ (PDF：703KB)

📄「まねっこサンタさん」チラシ (PDF：173KB)

## 「SHELF BYWAY シェルフ・バイウェイ」に協力 2011.11.28



山田良 (Ryoma Yamada) SHELF BYWAY シェルフ・バイウェイ

11月5日(土)～12月4日(日)、札幌駅前通地下歩行空間にて、全道のシーニックバイウェイルートを紹介する「SHELF BYWAY シェルフ・バイウェイ」が開催されています。札幌シーニックバイウェイのメンバーである、デザイン学部山田良講師によりデザイン・制作された12mの木製の棚が設置されています。地下歩行空間をご利用の際には、ぜひお立ち寄りください。

—「シェルフ・バイウェイ(寄り道棚)」は、自由に時間を過ごす空間アート作品であると同時に、展示のための家具としてレイアウトされています。北海道の風景写真が映えるよう、深い茶色としました。家具として、ときに窓として歩行者の皆さんの想像に任せて現れる空間です。この棚が、道内の地域の景観や物語を陳列し、風情を積み重ねるしつらいとなればと思います。(山田良講師)

📄SHELF BYWAY チラシ (PDF：613KB)

●タイトル：山田良 SHELF BYWAY シェルフ・バイウェイ

●第1回公開期間：2011年11月5日(土)～12月4日(日)

●場所：札幌駅前通地下歩行空間 西側北1条エリア

●趣旨：道路空間の景観及び利活用の検討の取組として (札幌開発建設部/シーニックバイウェイ支援センター)

●サポートスタッフ(塗装)：デザイン学部 笹島麻代、安永千晶、河合桃子



## Sapporo Design Week 2011に参加 2011.11.10

10月19日(水)から23日(日)の5日間、札幌地下歩行空間を会場に「札幌デザインウィーク2011」が開催され、札幌市立大学もワークショップやトークショー、パネル展示で参加しました。会期中は多くの市民の方々にご来場いただきました。

### ■ちびっこ向けワークショップ「動物をつくろう！動物ゲームで遊ぼう！」

1. 動物をつくろう：レーザーカッターで切り取ったパーツを自由に組み合わせて、好きな動物を作りましょう！
2. まねっこ動物園：いろんな動物に変身して、跳ねたり、くっついたり、動物の目線で遊んでみましょう！

📄チラシ (PDF：1.19MB)

●日時：2011年10月22日(土)～23日(日) 11:00～16:00

●会場：札幌駅前通地下歩行空間 北1条イベントスペース WEST

### ■札幌市立大学デザイン学部イベント「人と動物とのふれ愛のデザイン」

・トークショー：円山動物園「は虫類・両生類館」のデザイン

📄チラシ (PDF：1.19MB)

●日時：2011年10月23日(日) 13:30～15:00

●会場：札幌駅前通地下歩行空間 北3条広場イベントスペース

・パネル展示：円山動物園のデザイン

●期間：2011年10月19日(水)～23日(日) 10:00～19:00 (最終日17:00)

●会場：札幌駅前通地下歩行空間北1条イベントスペース WEST

札幌デザインウィーク2011：<http://www.sapporodesignweek.com/2011/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします)



ワークショップ  
「動物を作ろう」



ワークショップ  
「まねっこ動物園」



トークショー「円山動物園  
は虫類・両生類館のデザイン」



北一条会場

## 札幌芸術の森開園25周年記念シンポジウムに参加 2011.11.10

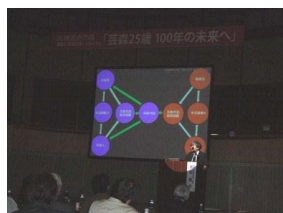


チラシ (PDF :  
1.19MB)

今年、開園25周年を迎えた札幌芸術の森。25周年を記念したシンポジウム「芸森25歳 100歳の未来へ」が開催されました。札幌市立大学からは、学長の基調講演をはじめ、公開プレゼンテーション、パネルディスカッションに参加しました。

- 日時：2011年10月23日(日) 13:00~17:00
- 会場：札幌芸術の森アートホール アリーナ  
<http://www.artpark25th.jp/>(札幌市立大学公式サイト外にリンクします)

- 基調講演「芸術の森の未来 -ジャンルを越える創造の森-」：原田 昭(札幌市立大学学長)
- 公開プレゼンテーション：  
本学からは11名の学生が参加しました。  
地域連携研究センター長・看護学部 スーディ 神埼教授が審査員として参加しました。
- パネルディスカッション：デザイン学部 羽深教授がパネリストとして参加しました。



## 「転倒予防大賞2011実践部門特別賞」を受賞しました 2011.10.07



転倒予防大賞2011  
実践部門特別賞 (PDF :  
308KB)

10月2日(日)、東京で開催された第8回転倒予防医学研究会において、札幌市立大学と札幌市立桑園小学校の2010年度受託研究(札幌市)活動報告が「転倒予防大賞2011実践部門特別賞」を受賞しました。研究課題のテーマは「小学校低学年児童を対象とした転倒予防の取組」です。

- 研究者：看護学部 松浦和代教授、吉川由希子准教授、三上智子助教  
デザイン学部 杉哲夫教授  
札幌市立桑園小学校 薄井純一 学校長

## 「けんこうフェスタ 2011 in ちゅうおう」に参加しました 2011.10.05

10月1日(土)に札幌市中央区民センターにて開催された「けんこうフェスタ 2011 in ちゅうおう」に、地域連携活動の一環として参加しました。

「けんこうフェスタ in ちゅうおう」は、札幌市中央区民の健康づくりに対する意識の向上を目的として実施されているイベントです。

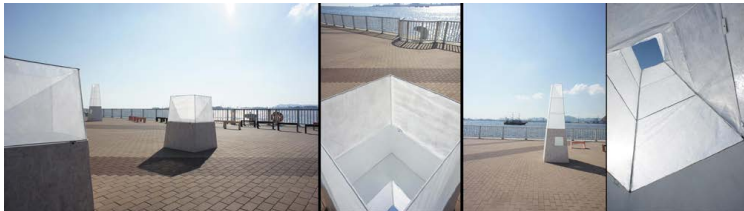
本学は、「札幌市立大学活動紹介コーナー」に、「子どものための転倒予防マット」を展示し、小さな子どもから高齢者の方まで、多くの市民に踏み心地が異なるマットの上を歩く体験していただきました。

主催/けんこうフェスタinちゅうおう実行委員会

<http://www.city.sapporo.jp/chuo/info/2309/kenkoufes.html> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします)



## 神戸ビエンナーレ2011国際展にて作品出展および審査員賞受賞 2011.10.04



irresolution landscape

デザイン学部山田良講師が、神戸ビエンナーレ2011国際展にて作品を出展し、審査員賞を受賞しました。幅700mにおよぶ広大な敷地に15ヶ所の'空の井戸'を設置。場と自身の関係を注視させる環境芸術作品です。

- ・ 作品名：「irresolution landscape/山田良」
- ・ 受賞：現地審査にて審査員賞を受賞
- ・ 会期：10/1～11/23 神戸市中央区ハーバーランドおよびポートアイランド
- ・ 公式HP：<http://www.kobe-biennale.jp/>(札幌市立大学公式サイト外にリンクします)

## 特別講義「いわき市における札幌市立大学の支援とその後の復興」を開催しました 2011.09.28

9月22日(木)午後、福島県いわき市保健所の新家利一所长、矢吹敦子保健師のお二人を講師に招き、「いわき市における札幌市立大学の支援とその後の復興」をテーマにした特別講義を開催しました。対象の看護学部4年生のほか、本学教職員と市民の方含む100人余りが聴講。行政の立場で復興にあたっているお二人から、津波の被害や原発事故の影響を受けたいわき市の実態を直接聞き、今後の課題や支援のあり方などを深く考え直すきっかけにしました。

また、引き続き行われた教職員とのラウンド・テーブル・ディスカッションでは、大学としての支援継続を視野にいた意見交換をしました。



## 「看護職復職支援講習会」を開催しました 2011.09.28

9月12日(月)から22日(木)まで、本学看護学部を会場に、「看護職復職支援講習会」を開催しました。さっぽろ雇用創造協議会が主催したもので、看護職として復職を希望する方40名が受講、本学教員が担当する講義や学内演習のほか、医療機関での実習を通して、復職への不安や課題を解消するため支援を受けました。実習終了時点で既に、6名の方の就業が内定しています。

最終日の22日に行われた終講式では、本学の中村副学長・看護学部長から、受講者代表に修了証が手渡されました。



## 札幌市立大学では、看護学研究科・看護学部特別講演会を開催します 2011.09.15



南裕子氏

9月24日(土)、札幌市立大学では、看護学研究科・看護学部特別講演会を下記の通り開催いたします。日本の看護会を牽引してこられ、今年ナイチンゲール記章を受賞された南裕子先生をお迎えし、国際的な観点から、人々の未来を支える看護師の役割についてご自身の経験をもとにご講演いただきます。大学院生、学部生、助産学専攻科生をはじめ、看護職の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- テーマ：国際的な看護活動から日本の看護の発展を観る
- 講師：南裕子氏(高知県立大学学長)
- 日時：2011.9.24(土) 13:30～15:00
- 場所：札幌市立大学看護学部大講堂(大学院棟1階)
- 共催：文部科学省 大学生の就業力育成支援事業 学社連携による循環型就業力育成プログラム

## 2011年度札幌市立大学研究交流会を開催しました 2011.09.12

2011年9月5日(月)、桑園キャンパスで第6回研究交流会を開催しました。  
この交流会は本学が理念に掲げている、デザインと看護の連携を促進し、両学部の研究への理解を深めるために企画されている事業で、デザイン学部・看護学部の教員がお互いに研究内容を発表し、交流を深め、共同研究等、連携の機会を探ります。  
口頭発表、展示発表合わせて67研究の発表があり、活発な質疑応答が交わされました。  
学生の聴講も17名ありました。



## 札幌市立高校生が職場体験をしました 2011.09.01

8月24日(水)と31日(水)の2日間、高校生が、看護学部のある桑園キャンパスで職場体験をしました。  
札幌市立高校が行っている「職場体験学習」を、今年初めて本学で受け入れたもので、3校から合わせて9名が、午前9時から午後3時までの間、教員の研究室見学や、実習室・講義室の準備や物品整理、事務作業や資料整理などを体験しました。  
高校生の皆さんは、大学の先生の仕事の深さを理解できた、看護の授業内容に触れ命の大切さを実感できた、地味な仕事を続けることの大変さを知った、など感想を寄せてくれました。これに対し、指導に当たった教員からは、「学生時代はサービスを受ける立場だが、仕事をすることはサービスを提供する側に立つこと。人を支える大変さを経験することは大切です」とアドバイスがありました。



## 看護学部4年生の特別講義「いわき市における札幌市立大学の支援とその後の復興」を一般の方に公開します 2011.08.24

東日本大震災で津波などの被害を受けた福島県いわき市の保健所長を講師に招き、看護学部4年生向けに特別講義を行います。その特別講義を、一般の方にも公開します。

本学では、4月24日(日)から5月9日(月)までの間、沿岸部の被災地に職員延べ29人を派遣し、いわき市保健所に協力して、避難所での健康相談や個別訪問による健康調査活動を行いました。

特別講義では、その活動による支援の内容とその後の復興について、保健所長と担当保健師からお話を聞きます。

- 日時：2011年9月22日(木) 15:20~16:40 (開場14:30)
- 場所：札幌市立大学桑園キャンパス(中央区北11条西13丁目1-15)
- 定員：100名(先着)
- 参加料：無料
- 参加申込期間：9月12日(月)~21日(水)
- 参加申込方法：札幌市コールセンターに、Eメール・電話・FAXのいずれかの方法で、お名前、ふりがな、年齢(○歳代)、連絡先(Eメールアドレス・電話番号・FAX番号のいずれか)を添えてお申し込みください。  
Eメール：info4894@city.sapporo.jp、電話：011-222-4894、FAX：011-221-4894

※会場には駐車場はありません。当日お車でのお越しの場合は、お近くの有料駐車場をご利用ください。

## 2011年度認定看護管理者制度サードレベル教育課程を開講しました 2011.08.24



2011年度の「認定看護管理者制度サードレベル教育課程」が8月22日に開講しました。  
午前中に行われた開講式では、受講生代表の石川ひろみさんが「初心に返り、真摯に学び考える時間にしたい」とあいさつ。引き続き、オリエンテーション・ガイダンスが行われ、午後には最初の講義「社会保障の概念」がスタートしました。

4年目の開講となる今年度のプログラムは、第I期が8月22日から9月9日まで、第II期が11月7日から25日まで、第III期が来年1月16日から27日まで。受講生11名は、計8週間・39日間の講義・演習を経て課程の修了を目指します。

## 台日老年学研究シンポジウムとスタディー・ツアーを開催 2011.08.17 (看護学研究科 老年看護学領域)

札幌市立大学大学院看護学研究科 老年看護学領域では、以下の日程でシンポジウムとスタディー・ツアーを開催します。

日本及び台湾の老年看護学研究者および建築を専門とする研究者が、北海道におけるグループホームの先進事例やその設計手法をテーマとして意見を交わすことを目的としています。

参加ご希望の方は、下記までお申込みください。

#### ●シンポジウム

- ・日時／2011年9月16日(金) 13:30～16:45
- ・場所／札幌市立大学サテライトキャンパス（札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12F）
- ・参加料／無料
- ・主催／高齢者の主観的幸福感研究会（札幌市立大学看護学研究科 老年看護学領域内）
- ・後援／札幌市立大学地域連携研究センター

#### ●スタディー・ツアー

北海道内のグループホームを訪問するスタディー・ツアーを予定しています。

詳しくは、下記までお問合せください。

 台日老年学研究シンポジウムおよびスタディー・ツアー（PDF：872KB）

<お問合せ・お申込み>

札幌市立大学看護学部 教授 坂倉恵美子

E-mail : e.sakura@scu.ac.jp（☆を@に置き換えてご利用ください。）

## 「環境広場さっぽろ2011」に出展 2011.07.29

7月29日（金）～31日（日）、札幌市白石区の「アクセスサッポロ」で開催される「環境広場さっぽろ2011」の「環境横丁」ゾーンに出展します。

本展示会は未来の地球とエネルギーを考える総合イベントで、今年のテーマは「美しい地球を子どもたちに！」。

今回は、環境について研究を行っている教員による、札幌市円山動物園「は虫類・両生類館」のデザインの事例や、工コ改修された中学校の研究事例、小学児童の感じる限界温度に関する研究事例などを紹介します。

環境広場さっぽろ2011（札幌市）

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/hiroba/hiroba2011/>（札幌市立大学公式サイト外にリンクします）

主催／環境広場さっぽろ2011実行委員会

## 「小樽アートプロジェクト2011」開催 2011.07.25



2011年7月25日（月）～8月7日（日）、昨年春にひきつづき、小樽市の歴史的建造物のなかで展開する、第2回「小樽/北のウォール街アートプロジェクト」を公開します。

同期間、小樽の代表のお祭り「おたる潮祭り」も開催されます。お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

#### ●山田良「Theatrical Landscape」

会期／2011年7月25日（月）～8月7日（日） 11:00～18:30（土曜は20:00まで）

フォーラム講演会／8月6日 15:00～17:30

会場／小樽旧商工会議所（1933年竣工）内 1F全体、フォーラムは3F

 Theatrical Landscape（PDF：1.3MB）

## 本学教員の個展「ネ・申・イ・ム・光景」開催 2011.07.25




7月23日よりデザイン学部の上遠野敏教授が、CAI02にて個展「ネ・申・イ・ム・光景」を開催します。

会期／2011年7月23日（土）～8月27日（土） 13:00～23:00

休館／日曜日、夏休み 8月12日（金）～17日（水）

会場／CAI02 札幌市中央区大通西5丁目昭和ビルB2（地下鉄大通駅1番出口）

 ポスター（PDF：105KB）

#### ●オープニングパーティー 7月23日（土）19:30～22:00

ゲストに小室治夫氏、露口啓二氏、伊藤隆介氏をお迎えし、対談を行います。

司会進行 端 聡

#### ●上遠野 敏によるアーティストレクチャー

「自然神の現れと神々のお供え」：7月30日（土）19:30～21:00

●アーティストトーク：8月20日（土）19:30～21:00

ゲスト：祭太郎

#### ●クロージングライブ「マイマイのDERI-CABA！」

8月27日（土）19:00～

インタビューはこちら

[http://www.shift.jp.org/ja/archives/2011/07/satoshi\\_katono.html](http://www.shift.jp.org/ja/archives/2011/07/satoshi_katono.html)

展示会案内はこちら

<http://www.cai-net.jp/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします)

主催：CAI現代芸術研究所 札幌ビエンナーレ・プレ連携企画

<http://www.sapporo-biennale.jp/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします)

## 本学で「看護職復職支援講習会」を実施します（お知らせ） 2011.07.22

札幌市立大学では、看護学部を中心に札幌市と協力して「看護職復職支援講習会」（厚生労働省委託事業「地域雇用創造推進事業」）を実施します。看護職として復職を目指している方を対象として、最近の医療・看護現場における必要な知識を学ぶ講習や病院実習を行うことで、復職に対する不安や課題を解消して復職への準備を支援します。

●開催日程：平成23年9月12日（月）～16日（金）、9月20日（火）～9月22日（木）

●開催場所：札幌市立大学 桑園キャンパス

●申込期限：平成23年7月29日（金）17：00必着

※詳しくは、下記ホームページをご覧ください

<http://www.sapporo-job.jp/> (札幌市立大学公式サイト外にリンクします)


また、この実施に当たり、コーディネーター兼アシスタントを募集します。下記「募集のお知らせ」をご覧ください。

 [募集のお知らせ](#) (PDF：21KB)

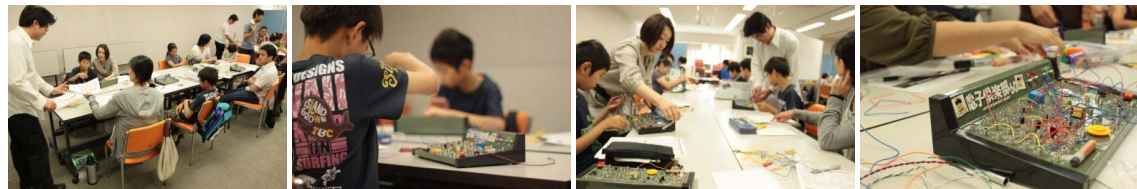
## メカトロ教室－簡単！電子工作－ 2011.07.11



7月2日(土)に、札幌市青少年科学館の会議室において「メカトロ教室『簡単！電子工作』」(主催：日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門第2地区技術委員会)を開催しました。去年に引き続き2回目の開催です。教材「電子倶楽部60」((株)梅澤無線電機(<http://www.umezawa.co.jp/>))を使って様々な電子回路を作って遊ぶことで、子どもたちに電子工作の楽しさや面白さを知ってもらうことが目的です。当日は天候にも恵まれ、受付開始直後から次々と子どもたちが駆けつけ、仙台から札幌に避難してきている小学2年生を含む19名が参加しました。参加者は小学3年生以下、4年生、5年生、および6年生以上の4グループに分かれ、デザイン学部の三谷講師は5年生のグループの講師を担当しました。子供たちは、トイレ休憩も取らずに非常に集中して課題に取り組み、実習時間の3時間があっという間に過ぎてしまうほどの熱中ぶりでした。子供たちからは「もっと難しいことがしたい」「ロボットを作りたい」といった感想が相次ぎ、保護者からも「年に何回もやってほしい」「一日をかけてのイベントでもいい」といった意見が寄せられました。

 [ポスター](#) (PDF：555KB)

デザイン：製品デザイン  
コース4年 若山玄晃さん

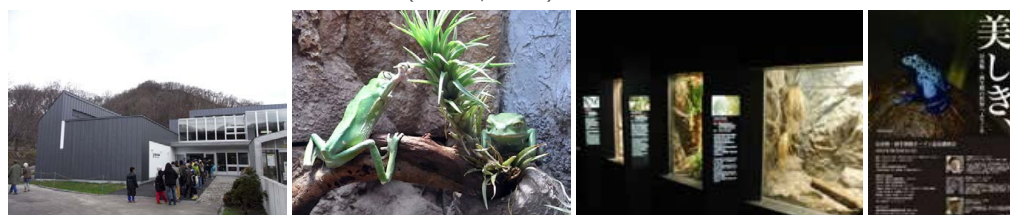


## 本学教員が円山動物園「は虫類・両生類館」のデザインを監修 2011.06.02 (06.23更新)

札幌市立大学では2006年の開学時より、「札幌市円山動物園基本構想」策定への協力および同構想に基づく多くの地域貢献にかかわる活動・事業を展開しています。2011年4月23日（土）にオープンした「は虫類・両生類館」のデザイン提案・監修も地域貢献による研究成果の一つです。は虫類・両性類の生き生きとした生態展示を表現するためには、館内の展示スペースの照明や温湿度の管理が重要です。そこで、デザイン学部の齊藤雅也准教授が、専門分野の建築環境学の知見を応用し、2007年より3年間、建築・環境設備システムのデザイン監修を担当してきました。…続きを読む

 [新は虫類・両生類館の紹介パネル](#) (PDF：679KB)

 [「は虫類館・両生類館オープン記念講演会」](#) (PDF：2,395KB)





## 復興支援ための教職員派遣について 2011.05.12

東日本大震災の被災地であるいわき市災害対策本部との連携により、いわき市の復興支援に協力することとし、4月24日（日）から5月9日（月）まで現地へ教職員を派遣しました。…詳しく読む

## 「滝野パークステーション」リノベーションに協力しました 2011.04.21



before & after チラシ (PDF : 874KB)

20日、滝野すずらん丘陵公園・鱒見口に隣接する旧サイクリングセンターがリニューアルオープンしました。その名も「滝野パークステーション」。地元農家の野菜などを販売する物産店&情報発信ギャラリーへと素敵に生まれ変わります。

それに合わせ、施設全体のデザインに関する受託研究を受けた山田良講師が、研究に関わった学生と共に、パネル展示「ビフォー・アフター」（※8月下旬まで）を開催します。

## 2011年度看護学部高大連携公開講座が開講しました 2011.04.12



2011年度の看護学部高大連携公開講座の受講生として、札幌市立高校7校の2年生から3年生まで合計25人が決定し、4月7日、開講式が行われました。

看護の専門教育科目である「看護学原論」、「地域保健学概論」、「人間発達援助論」、「チーム医療論」、そして今年度から新たに加わった「国際看護学」の計5科目を、各5人が受講します。

緊張して開講式に参加した受講生たちは、中村副学長・看護学部長から挨拶の中で「難しいことは、ちょっと横に置いておいて」とアドバイスを受けると、ひと安心して、大学生と一緒に受ける授業に期待を寄せていました。

## 僻地医療学会にて遠隔医療に関する研究成果を発表しました 2011.04.07



3月13日から16日に、オーストラリア（パース）で開催された僻地医療学会(11th National Rural Health Conference)にて、スーディ神埼和代 地域連携研究センター長・看護学部教授が出席し、デザインと看護両学部の教員が共同研究した遠隔医療に関する研究成果を発表しました。

この学会では、発表抄録と共に事前提出した提案書を、スーディ教授の発表内容も含めた13項目にまとめ、学会最終日にオーストラリアのロクソン厚生大臣へ提言を示しました。大臣はその場で提案書に対する見解を述べた他、提案書を持ち帰り関係部局にて検討することとしました。

研究から得た知見を国や地域へ提言していく方法の一つとして、とても興味深い体験であったそうです。

発行 地域連携研究センター  
協力 広報委員会